



獨協医科大学附属看護専門学校三郷校、大宮校チューター；イトウさん 入学までの過ごし方に関して

こんにちは！大宮校でチューターをしています、獨協医科大学附属看護専門学校三郷校1年のイトウです。今回は私が看護学校に合格した後、どのような過ごし方をしていたかについてお伝えさせていただきたいと思います。私は社会人になってからの受験だったので浪人という選択肢はありませんでした。1年で合格したいという思いが強かったため、希望校への入学が決まった時は心から喜びを感じました。約半年間の受験対策は、長い間勉強を離れていた私にとって大変なものでした。なので、合格後の数週間は家で家族との時間を大切にしたり、受験時にはなかなか会えなかった友人と会ったりして楽しい時間を過ごしました。12月に入った頃から、4月から始まる学生生活に向けて少しずつ準備を始めました。

1、生物の勉強

私は高校の時に、生物の授業を選択していなかったので知識がほぼない状態でした。東アカの講師から「現役生は学校で生物の勉強をしてきているから、学校の授業についていくためには基礎を身に付けておくべき」というアドバイスをいただいたので、参考書を1冊購入して学習していました。生物に関する漫画なども出版されていますので、いきなり参考書での独学に抵抗を感じる場合はそのようなものを読むのもオススメです。

2、新聞を読む

受験時には、小論文対策として新聞を毎日読んでいました。受験が終わっても医療に関する記事と社説の欄は意識して読むようにしていました。入学後の授業でも新聞記事を参考にすることがあるので、読んでおくと思いいます。

3、アルバイト

入学すると、授業の予習復習に加え、個人課題、グループワークなどに追われアルバイトをする時間が減ってしまいます。なので、入学前にアルバイトをして、その後の生活費や学費を貯めておくこと入学後、勉強とアルバイトの両立に苦しむことも少なくなるのではないかと思います。

4、生活リズムを整える

入学前は、学校、遊び、家事、仕事…様々な理由で、生活リズムが崩れてしまっている方もいると思います。私もその一人でした。しかし、看護学校でのカリキュラムは朝から夕方まで組まれていて、それをこなさないと遅れをとってしまいます。なので、入学式の2週間前くらいからは食事や睡眠時間に特に気を付けていました。入学してからも、体調を整えて授業に挑まないと、自分が辛いというだけでなくグループワークでも周りに迷惑をかけてしまうことになるので、体調管理をすることは重要です。

5、東アカの入学前準備講座を受講する

東京アカデミーでは、入学前準備講座というものがあります。数ある講座の中、私は「からだのつくりとはたらき」と「レポートの書き方」というものを受講しました。入学するとすぐに解剖生理学という授業が始まります。授業は主に医師が担当するので結構難しいです…この「からだのつくりとはたらき」を受講すると、解剖生理の基礎をわかりやすく説明してくれるので、入学後の授業の理解度がぐんと上がったなと実感しました。また、「レポートの書き方」に関しても、レポートの構成方法や読み手が理解しやすい書き方を説明してくれるので、授業で出されるレポート課題に応用するといいい評価がもらえるかもしれません（笑）

最後に…

今回は、看護学校合格後の入学までの過ごし方についてお伝えさせていただきました。この内容を読むと合格したばかりなのにまたすぐ勉強か…と思われるかもしれません。私もそうでした。もう入学先が決まっている時点で看護師になるというスタート地点には既に立っているの、あまりプレッシャーを感じずに楽しく行っていただけたら、と思います。私もまだ1年生で、勉強することがたくさんあり日々忙しく過ごしていますが、それでも看護師として働ける日が1日ずつ近づいていることに喜びを感じています。皆さんも、4月から始まる新しい学びや出会いのある看護学生生活を是非充実したものにして下さい！

